

一般財団法人 F A財団

2021年度事業報告書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

1. 論文賞表彰事業

1. 令和3年（2021年）2月に行った7学会への推薦依頼に応じて、6月末日の締切までに論文賞候補17件が送られてきた。そこで、7月～8月に各審査委員に書面審査をお願いし、9月7日（火）に審査委員会（オンライン会議）を開催して授賞候補論文8件を選定してもらい、10月8日（金）の第27回理事会（書面審査）で授賞論文8件を最終決定した。12月10日（金）に霞山会館で開催した表彰式では、受賞者をはじめ、7学会関係者、来賓、役員・評議員・審査委員等、約60名の参加を得て、論文の著者に表彰状と副賞（1件100万円）を贈呈した。ただし、表彰式後に開催する技術交流会は、コロナ禍拡大防止のため昨年と同じく中止となった。
2. 審査委員会では、令和4年度以降の論文賞表彰事業全般についても意見交換を行い、論文賞の募集・審査・表彰のスケジュール、推薦依頼学会は今年度と同様で良いことになった。また、国際会議開催に関する援助については、当面の間、7学会が関与して国内で開催される、論文賞に関連の深い分野の会議に限定して、資金援助を検討することになった。
3. 令和4年（2022年）2月に、令和4年度の論文賞候補の推薦を7学会に依頼した。

2. 運営・管理体制

1. 令和2年（2020年）度の決算に基づいて、6月30日に公益目的支出計画実施報告書等を内閣府に提出した。
2. ファナック株式会社からの資金援助については、12月8日に2,000万円の振り込みがあったので、管理費として運用することを前提として収入の部に計上した。
3. 平成12年に改訂されたままになっていた当財団の諸規程を見直し、他の類似団体の諸規程も参考にして、当財団の諸状況に合致し、かつ昨年4月に施行された「改正高年齢者雇用安定法」の趣旨にも沿うように改訂し、10月から執行した。

以上

事業報告の内容を補足する重要な事項が無いため、事業報告の附属明細書は作成していない